

サブプロジェクト I: 「世界経済」研究会

1. 研究概要

2016年は英国のEU離脱や米国大統領選挙に象徴されるよう、反グローバリズムの動きが顕在化した。現代のグローバリゼーションは、近代資本主義の下、情報・交通技術と金融市場の発展と相まって、中国をはじめ新興諸国を世界経済に取り込む形で生産フロンティアを爆発的に拡大させてきたことが特徴的である。グローバリゼーションは世界経済の成長を加速させ、先進国と新興国間の経済格差は縮小させたが、一方でグローバルな産業競争あるいは構造の変化をもたらす労働市場への影響（失業問題、非正規雇用の拡大など）、所得格差の拡大（中間層の没落）などの問題も先進国を中心に顕著になりつつあり、社会的政治的に影響を及ぼすようになった。グローバリゼーションの負の影響は、反グローバリズム、保護主義、自国第一主義という政治的な反発として表面化し、国際秩序を揺るがす危機要因となっている。

本研究会は、現代のグローバリゼーションが何をもたらしたのか、今後どのように展開していくのか整理し直し、経済・外交政策上の課題を明らかにした上で、今後取るべき施策について提言を行うことを目的とする。主な論点は以下を含む。

①現代のグローバリゼーションの総括と経済社会への影響

現代のグローバリゼーションにつき、比較的長期的なスパンから構造的な問題を整理するとともに、経済社会への影響を明らかにすることを目指す。

②技術革新が及ぼす経済社会への影響

労働市場の影響や格差の拡大の問題は、技術革新による生産性の向上やビジネスモデルの転換が大きな要因の一つであると指摘されている。反グローバリズムの動きとも密接にかかわるため、技術革新の側面から見た経済社会への影響について検討を行う。

③通商政策を巡る問題

反グローバリズムの動きの高まりは、世界の通商秩序に重大な影響を与えている。通商政策を巡る問題を整理し、今後日本が取るべき通商戦略のあり方について検討を行う。

④経済・外交政策のあり方

先進国間あるいは新興国を含む国際的な協力や、わが国の経済・外交政策のあり方について検討していく。これにはマクロ経済政策における協調や、国際協調の枠組みについての論点を含む。

平成29年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（総合事業）
「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」

2. 研究体制

主査：

稲葉 延雄 リコー取締役会長／リコー経済社会研究所常任参与

委員：

馬田 啓一 杏林大学名誉教授

浦田 秀次郎 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

河合 正弘 東京大学特任教授／環日本海経済研究所代表理事

川野 祐司 東洋大学経済学部教授

城山 英明 東京大学大学院法学政治学研究科教授

高木 聡一郎 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授

橘木 俊詔 京都女子大学客員教授／京都大学名誉教授

中島 厚志 経済産業研究所理事長

中林 伸一 アジア開発銀行研究所総務部長

丸川 知雄 東京大学社会科学研究所教授

安井 明彦 みずほ総合研究所欧米調査部長

委員兼幹事：

相 航一 日本国際問題研究所所長代行

中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長

柳田 健介 日本国際問題研究所研究員

3. 研究会の実施状況

一回会合：6月13日・於当研究所

プロジェクトの趣旨説明、年間の研究計画等

二回会合：8月2日・於当研究所

テーマ：

「反グローバリゼーションを巡る様々な論点について」

「EUの未来」

「反グローバリズムについて：世界経済の視点から」

三回会合：9月19日・於当研究所

テーマ：吉川洋（立正大学教授／東京大学名誉教授

「人口減少と日本経済」

平成29年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（総合事業）
「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」

「グローバル化と米国政治」

「中国経済の拡大がもたらす世界経済の変化」

四回会合：11月27日・於当研究所

テーマ：「世界貿易減速(Slow Trade) と保護主義の台頭」

「ポピュリズムと経済」

「仮想通貨を利用したスタートアップ企業の資金調達(ico)の動向とその課題」

五回会合：1月17日・於当研究所

テーマ：「アジア太平洋の通商秩序を揺るがすトランプ米政権」

「中国の『一帯一路』構想」

「多国間主義のレジリエンス—グローバルヘルス、サイバーセキュリティの場合」

「グローバリゼーションに対する G20 および IMF の関与と見解」

研究会合同ワークショップ：2017年12月8日・於当研究所

テーマ：「BREXIT とポピュリズム」

研究会合同公開シンポジウム

「反グローバリズム再考—ポピュリズムと中東発の危機に揺れる世界—」

日時場所：2018年2月5日、於：東海大学校友会館

テーマ：基調講演 「反グローバリズムの諸課題への対応」

《第1部》「ポピュリズムに揺れる先進国」

《第2部》中東発のグローバルリスク